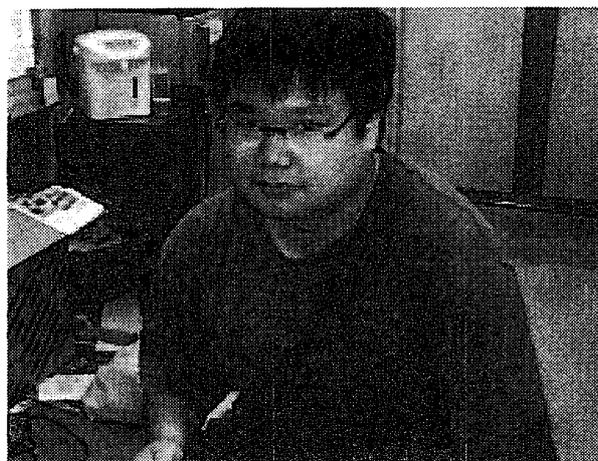


中川貴司¹

皆様ご機嫌いかがでしょうか？2002年5月に東京大学で学位を取得しました中川貴司と申します。現在(2003年7月現在)UCLA (University of California, Los Angeles)の地球宇宙科学専攻(Department of Earth and Space Sciences)というところでポストドク稼業をさせていただいております。また、2003年秋にはシカゴ大学(University of Chicago)の地球物理科学専攻(Department of Geophysical Sciences)へ移籍をする予定でございます。

私の学位論文における研究テーマは狭い意味での惑星科学という概念では全くあてはまらないテーマで研究を進めておりました。そのテーマとは「地球マントル対流のダイナミクスとその構造」についてです。地球も太陽系を構成している惑星の一つなので、当然惑星科学とは切っても切りはなせないものであると信じております。研究の概要を簡単に述べますと、地球内部のマントル対流を従来考えられてきた単純な熱対流(それでも、複雑なレオロジーとかを考えないといけないのですが)としてとらえるのではなく複数の組成を持っている熱組成対流(Thermo-chemical convection)としてとらえることによって、地震波トモグラフィーで見えている地球内部構造の理解の向上(Nakagawa and Tackley, 2003 to be published)と熱対流だけでは理解できない熱進化モデル(Nakagawa and Tackley, 2002 AGU Fall meeting)について2次元系における数値シミュレーションを主な手段として研究を進めてきました。

現在はそのシミュレーションを3次元系に拡張し、より現実的な系で内部構造とそのダイナミクスの研究を進めることと、より複雑な物理過程(部分熔融や多成分多相系など)を取り入れたコアマントル結合系の熱史モデルの構築をおこなっております。また、回転球殻におけるMHDダイナモの数値シミュレーションの研究にも力を入れつつあります。これらの研究をしっかりとやり遂げ、プレートマントルコアのダイナミクスを統一的に語ることでできる地球惑星内部ダ



イナミクスモデルを提唱していくことが私の研究の究極的な目的でもあります。

はじめにも述べましたが、現在は活動の地を日本から遠く離れたアメリカ合衆国カリフォルニア州ロスアンゼルスへと移しております。また、暫くするとイリノイ州シカゴへと移る予定です。以下では私の職場であるUCLAと生活の拠点であるロスアンゼルスについて簡単に紹介します。UCLAはロスアンゼルス市中心から西へ約30キロはなれたWestwoodというBeverly HillsとSanta Monicaに挟まれた小さな街にあります。Westwoodは大変陽気な学生街で非常に治安もよく、有名人(ハリウッド俳優)なども多く生活しております。また、医学や物理学などで非常に顕著な研究成果を出しているだけでなく、フットボールやバスケットボールなどのスポーツにも力をいれており、数々の卒業生がNFLやNBAで活躍しております。大学の南側には映画会社20世紀Fox直営の映画館があり、有名俳優出演の映画のWorld Premier上映会がよく行われております。当然、出演者である有名な方々にもよく遭遇します。大学の北側はHollywoodと呼ばれるところになります。ガイドブックではHollywoodとBeverly Hillsの位置が逆に書かれているので注意して下さい。最後に、ロスアンゼルスは全米一大きな日系コミュニティーがあることでも有名ですので、英語に不安がある人でも十分生活していけます。そのような自由で明るい街に拠点をおいて、研究活動やその他の活動をし

¹ takashi@ess.ucla.edu

てきたことに大変誇りに思います。今度は大変寒いところへ移動しますが、ロスアンゼルスで培ったものを花咲かせるべく一生懸命がんばっていく所存であります。また、日本にいる学会関係者の皆様、どうか私の存在を忘れないで下さい。お願いします。